

令和6年度

学校評価集計



「明るく 素直で たくましく」

沖縄県立宮古特別支援学校

(別紙様式)

令和6年度学校評価の実施状況等調査

学校名	宮古特別支援学校
記載者名	教頭 前川考治

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	56	13	12	84

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	0	0				5

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	89	0	0				89

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 令和5年度の学校評価を踏まえ、令和6年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①いじめ問題については、学校評価とは別にいじめアンケートを実施し、適切な対応を行っている。
②令和5年度は「管理者・各学部・各部署との意思疎通」に関する設問に対して15%の教職員が「意思疎通がなされていない」という評価であった。学校経営方針について校長が明確に説明したことで「意思疎通がなされていない」という評価が2.5%に減った。
③令和5年度は「働き方改革」に関する設問に対して27%の教職員が「進んでいない」という評価であった。今年度教職員が成績処理、職員研修を行う時間を確保した(早下校の日数を27日増やし年33日とした)。また、教員業務支援員を導入した。その結果、「進んでいない」という評価が19%に減った。
④令和5年度の保護者の自由記述に「校舎内が汚れている」という意見があった。これまで教諭が行っていた清掃業務を事務員、教員業務支援員を中心に役割分担を行い、校内美化の取組を継続して行ったことで、校舎内がこれまで以上にきれいになってきている。

6 令和6年度の学校評価で明らかになった課題

①『働き方改革』推進にあたり、組織及び個人としての業務の負担軽減等の業務改善の取り組みが行われているか」という設問に対して19%の職員が「進んでいない」という回答であった(R5年度は27%)。 そこで全県立学校共通の3軸6視点のアンケートを取ったところ「<働きやすさ②>個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができていない。」について25%の職員が否定的な意見となる結果が出た。その他の項目については否定的な意見は20%以下であった。
②保護者アンケートからは否定的な回答が10%を超える設問はなかった。しかし、進路指導に関する設問に対して7%「あまり行われていない」という回答があった(R5年度は4%)。

7 令和6年度の学校評価を活かした令和7年度の改善点

①働き方改革に関する取組を継続して行う必要がある。令和6年度は給食後下校の日数を33日(令和4,5年度は6日)取ったことから、これ以上の授業時数の削減については慎重な検討が必要だと考えている。 ゆとりある時間の確保のために (1)職員環境美化の日毎月(年11回)から学期1回(年3回)とする。 (2)職員が行っていた職員室清掃・トイレ清掃、廊下清掃を教員業務支援員・事務員の担当とする。 (3)連絡アプリを用いた保護者への文書配布 (4)Microsoft Formsをもちいたアンケート集計の推進等のICTを活用した校務効率化 (5)行事のさらなる精選(各部署で検討) (6)各授業に入る教員の数再検討(各学部で検討) (7)加配教諭の要望(管理者が県に要望)
②PTA進路部と連携して行っている、保護者対象の事業所見学を1回から複数回に増やす取組を行う。

令和6年度 県立宮古特別支援学校保護者アンケート 回答41名／89名中(46%)

12月実施 Formsで回答 ※お子様の在籍学部。(幼小学部23名・中学部10名・高等部8名)

NO.	項 目	そう思う	どちらかという と そう思う	どちらかという と そう思わない	そう 思わない
1	学校(各学部・寄宿舍)は、明るく素直でたくましい幼児児童生徒の育成に努力している。	32	9	0	0
2	学校(各学部・寄宿舍)は、校内外の環境美化や清掃、整理整頓が行き届いている。	33	8	0	0
3	学校(各学部・寄宿舍)は、保護者や地域との連携に努めている。	25	15	1	0
4	学校(各学部・寄宿舍)は、進路に関する指導が十分に行われている。	20	18	3	0
5	子どものことについて、学校(各学部・寄宿舍)に相談できる。	31	9	1	0
6	「個別の教育支援計画」について、学校(担任)は保護者と共通理解している。	31	9	1	0
7	学校(各学部・寄宿舍)は、自立・社会参加に向け、個々の実態に応じた指導が行われている。	23	16	2	0
8	給食は安心安全に提供され、食育や献立などについて給食だより等で情報提供している。	34	7	0	0
9	学校(各学部・寄宿舍)は、危機管理（地震・津波・火災避難訓練等）や安全対策に努めている。	32	9	0	0
10	本校のPTA活動は、学校・保護者間の連携が取れている。	24	16	1	0
11	本校ではスクールバスの運行や、登下校時の保護者・児童デイ等との引継が安全に行われている。	30	10	1	0

(1)いつも先生方が、子どもたちの成長に寄り添っていただいていることで、子どもたちも親も安心して過ごすことができます。ありがとうございます。また、校庭の花木の手入れがされて、登下校時の送迎時に癒されています。ありがとうございます。

(2)今のところ、問題なしです！

(3)保護者面談だけでなく、生徒さんとも1体1の面談も出来るだけして欲しいです。

(4)相談事や質問に対して、どんな小さなことでも丁寧に対応して下さるので、安心できる。

(5)いつもありがとうございます

(6)学校の先生たちは担任だけでなく、まわりの先生たちまで、一人一人の子供の事をよく見て理解し情報を共有出来ているように思います。いつもの様子とは違う、学校生活の話を書くと、子供の成長を強く感じ嬉しく思います。

(7)対応に日々感謝しています。

(8)いつも子どもたちの安心安全を守りつつ、ご指導に努めていただき、大変有難く思っております。

(9)子どものことについていつも親身になって話を聞いてくれたり、先生たちで共通理解し対応してくれて感謝しています。

(10)子供がいつもニコニコ帰ってくるので、今日も学校楽しかったんだと分かります。

(11)先生方がいつも明るく子ども達に優しく寄り添っている姿がとても素敵です。息子も、毎日学校に行くことを楽しみにしています。また、息子の発達段階や特性に応じたきめ細やかなサポートをしていただき日々感謝でいっぱいです。

①今年度は授業参観はないのでしょうか

→今年度は、行事計画としては5月のPTA総会の日のみの設定でした。授業参観の日の設定について今後検討して参ります。また、連絡いただけたら、基本的にいつでも授業参観をすることが可能です。ぜひ授業参観にいらして下さい。

②自立や就労等を始めるには小学部高学年頃から取り組みがある方が長い目で見て早くはないと思うので、是非取り組んでほしいと思います。

→全ての授業を通して、将来の自立を目指した取組を行います。小学部においても職場見学、校外学習、交流学習、中学部・高等部との合同授業等を通して、子供たちが自分の生き方を考える取組を行います。

③進路については、まだ早いか？と思い、相談したことは無いですが、案内をプリント等でよく見かけます。中学、高校と学年が上がるにつれて相談もさせて頂きたいと思えます。

→子どもの年齢にかかわらず進路についての相談が可能です。また、PTA主催の事業所見学等にもぜひ参加下さい。

④数年前まで発行されていた野田の森が無くなったので、先生達のお顔と名前、学部、教科担当が一致せず分かりません。

→大変失礼いたしました。次年度以降、職員の顔、名前、所属等がわかるものを発行します。

⑤研修などの早下校の日が多いように見受けられ、困ります。

→研修については幼児児童生徒へのよりよい教育のために、教職員の専門性向上・授業力向上を図る取組を行っています。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

⑥夏期のプール開放の機会を増やしてほしいです。

→今年度は7月下旬に5日間プール開放を実施しました。今後も予算等に応じたプール開放日を設定します。

ご回答 誠にありがとうございました

れいわ ねんど じどう せいと かいとう めい めいちゅう
令和6年度 児童生徒アンケート 回答26名／90名中

こうもく
 ※1から7までのアンケート項目について「はい」「いいえ」「わからない」のどちらかに○をつけてください。

がむっし
12月実施

NO.	こうもく アンケート項目	はい	いいえ	わからない
1	がっこう たの 学校は楽しいですか。	25	1	0
2	じゅぎょう 授業はわかりやすいですか。	24	1	1
3	せんせい じゅぎょう ていねい おし 先生は授業でわからないところを丁寧に教えてくれますか。	25	0	1
4	がっこう こま とき そうだん ひと 学校で困った時に相談できる人はいますか。	25	0	1
5	がっきゅうせんせい いがい きがる はな 学級の先生以外にも気軽に話しかけられますか。	25	0	1
6	がっこうぎょうじ たの 学校行事は楽しいですか。	26	0	0
7	せんせい げた 先生方は、がんばったことをほめてくれますか。	26	0	0
8	がくぶ おし つ あなたの学部を教えてください（○を付けてください）	小学部10名	中学部14名	高等部2名

宮古(みやこ)特支(とくし)で自分(じぶん)が成長(せいちょう)したと思う(おも)うことを自由(じゆう)に書いて(かいて)ください

- (1)たいいくをがんばっています
- (2)べんきょう
- (3)考える勉強を、出来るようになった
- (4)国語で、勉強をして漢字検定をしたいので、1月にやりたいです
- (5)牛乳が飲めるようになった。
- (6)筆算がわかるようになった
- (7)特体連
- (8)体力がつかえました 寄宿舎も頑張ってます
- (9)修学旅行で飛行機に乗りました
- (10)こくごへんきよおががんばった
- (11)すうがくで、べんきょうをかけざんを、限定をしたいのでやりたいです。
※おそらく検定をしたいのでやりたいです

学校(がっこう)にお願い(おねがい)したいことがあれば自由(じゆう)に書いて(かいて)ください

- (1)給食でパンが食べたいです
- (2)推し(目黒蓮)に会いたいので呼んでください。
- (3)わからないことを教えるたのしいがっこうにしたいです

カイトワ

回答ありがとうございました

令和6年度学校評価(全教職員) 回答者80名/84名中(96%) 12月実施 Formsで回答

A: そう思う B: どちらかというと思う C: どちらかというと思わない D: そう思わない

質問に答える前に	学校評価は「学校全体として行われているか」という視点で評価すること ※自分自身が行っているかどうかという視点ではありません。
----------	---

評価項目	No.	評価内容	評価			
			そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない
学校経営	1	本校では、教育目標や校長の学校経営方針の共有が図られている。	63	17	0	0
	2	本校では、情報の共有化や管理者・関係部署等との意思疎通(報告・連絡・相談)が行われている。	54	24	2	0
	3(1)	本校では、「働き方改革」推進にあたり、組織及び個人としての業務の負担軽減等の業務改善の取り組みが行われている。	34	31	14	1
	3(2)	<働きやすさ①>同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています	44	30	2	1
	3(3)	<働きやすさ②>個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	31	27	18	1
	3(4)	<働きがい①>児童生徒との信頼関係を深めることができています。	48	28	1	0
	3(5)	<働きがい②>より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している	28	39	9	1
	3(6)	<心身の健康①>心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています	37	35	4	1
	4	本校では、体罰防止、人権尊重、個人情報保護・守秘義務等の法令遵守の徹底に取り組み、私費会計等については、適切に処理されている。	57	18	3	0
	5	本校では、危機管理(避難訓練、緊急時シミュレーション等)や安全対策に努めた取り組みが行われている。	58	20	2	0
教育活動	6	本校では、幼児児童生徒の実態や発達段階等の教育的ニーズに応じた教育活動が行われている。	50	27	2	1
	7	本校では、各教科、自立活動等の指導において、必要な指導及び適切な支援を行っている。	45	33	2	0
	8	本校では、発達段階に応じて、一人一人に応じた自立と社会参加に向け、必要な能力や態度を育てる事を通して、自らを知る教育(キャリア教育)の視点を踏まえた取組が行われている。	46	31	3	0
	9	本校では、情報機器(ICT)を活用した授業が行われている。	42	30	8	0
	10	本校では、図書室利用や読書活動等を通して、本への興味・関心を育てる教育活動が行われている。	59	21	0	0
	11	本校では、いじめの未然防止、早期発見、早期解決など、迅速な対応に努めている。	60	19	0	0
	12	本校では、各学部、寄宿舎、家庭が連携した教育活動が行われている。	52	28	0	0
地域社会との連携	13	本校では、学校間交流や居住地交流等が計画的に行われている。	59	18	3	0
	14	本校は、センター的役割(教育相談、就学相談等)の充実に努めている。	55	22	1	0
	15	本校では、地域の教育資源(自然、民間・公共施設、企業、外部の専門家等)を活用した教育活動が行われている。	44	30	5	0
その他	16	本校では、校内研修、授業研究、公開授業等が計画的に行われ、教職員の実践力や専門性の向上に努めている。	61	18	1	0
	17	本校ではスクールバスの運行や、登下校時の保護者・児童デイ等との引継が安全に行われている。	58	21	1	0
	18	本校のPTA活動は、学校・保護者間の連携が取れている。	44	29	7	0
所属		所属 回答しません22名 事務・現業・養護教諭9名 幼・小学部15名 中学部10名 高等部16名 寄宿舎8名				
自由記述		(1)職員との連携が取りやすいとてもいい環境で仕事をすることができています。 (2)職員一人一人が幼児児童生徒のことを第一に考えた取り組みを行っている素晴らしい職場だと思います。 (3)働きやすい環境に感謝です。 ①授業時数の均等化をお願いします。小学部の空きを補填するために、授業時数を減らす、中高の日常的な協力(担外を増やすなど) →小学部への加配の配置を要望してます。また、授業に入る教員の数の検討や自立活動専科、教科の専科制の導入の検討も方法の一つだと考えてます。 ②卒業後の生活を考えて もう少し 生活に沿った援助等を日々の授業の中に取り入れて欲しい。個別性を活かして 年齢関係ない活動や授業が出来ないものでしょうか?学校の授業を見直す時かと。個人が興味を示す事や才能を活かす方法を探して 伸ばして 卒業後もそういう特技を繋げられる様な場や施設を作ってほしいです。宮古島はそういう施設が少なく 沖縄本島に行くしかない様な現実です。行政が興味が無いのか?簡単に本島に行くしかないと言い切ります。兄弟児が居たり そんなに簡単に本島に行ける人ばかりではありません。学校では守られていますが 卒業後も活かせる生活が出来るように 単なる学科だけでは無い 授業を望みます。 →教科上の知識・技能だけを教え込むのではなく、思考力・判断力・表現力を伸ばし、人間性・主体性の向上を図るのは全ての学部の全ての授業において、必要な考え方です。校外の人的資源・物的資源をフル活用して、同年度の教室での学習と合わせて、校外学習・学部連携授業・交流学习・就業体験などを行い、子供たちの力を向上させる教育実践を行っていきましょう。 ③教育現場として児童生徒へ身だしなみや社会的マナーなどを統一したほうがよい。 →教職員が子供たちの模範となる身だしなみ・社会的マナーを行いましょ。子供たちへの指導については、一人一人に応じた手立てで社会的常識の修得を目指した指導をお願いいたします。 ④今年度医ケア学級の担任として修学旅行の手続きを進める中で、引継ぎ資料を見ても、実際に旅行を行わないとわからないことがたくさんあると感じました(書類上のこと、保護者との確認事項など多岐に渡る)。今回、修学旅行を終えて保護者にも対応についてアンケートを書いていただき、宿泊学習にむけての流れを確認することができました。学校全体で、医ケアの児童・生徒の宿泊学習について知る機会があれば、と思います。 →小中学部の修学旅行に医ケアの児童生徒が参加しました。医ケアの児童生徒は次年度新小学部1年生が新たに加わり、次々年度は高等部にも医ケアの生徒が所属します。当事者意識を持って日頃の教育活動の実践を行っていきましょう。 ⑤スクールバスの介助員の休みは当然の権利と思いますが、当たり前のように朝早く出勤している先生が代わりに乗ってくださっている。この代わり(補充?)の方法は、正しいのでしょうか?と気になっています。バスの出発は7時5分。明らかに、出勤時間より早く仕事をしていることになりませんが、勤務の振り替えはできているのか?その先生のおかげでスクールバスの運行がスムーズであることを全体でわかっておいた方がいいと思います。 →登下校のスクールバスに乗った教諭に対しては、振替休の取得を行っています。今後登下校バスの介助員が休んだときに、特定の職員以外でもスクールバスの乗車業務を担うことができる体制づくりを行います。				

裏面に1月追加アンケートに対する自由記述があります

1
月
追
加
ア
ン
ケ
ー
ト
で
の
自
由
記
述

協力体制ができていて、すばらしいと思います。
特別支援学校小学部の授業時間数が多すぎる。標準授業時間数を削減してほしい。1人あたり24時間くらいの持ち時間数になるように（担任のみの平均値で）1授業あたりに授業準備する時間をきちんと同程度の時間（あるいは近づけた時間）を確保してほしい。
職員によって仕事量にばらつきがある。
特に小学部高学年の授業持ち時数を減らす（中高のように一日一コマは空き時間で教材研究の時間を確保したい。放課後の時間を増やすため、各授業の間の休み時間をなくす、教員の観なければいけない時間は増えている。小学部だけ月に数回午前中授業を実施する。など）。教育課程の調整で年間授業時数の調整（台風等で多く保有している現状）。離島の住宅手当を増やす。現状全然足りていない。
本校は管理者含め、働き方改革が進んでいると思います。理由としては年齢層が若いことが要因であると考えます。職員の持ち授業時数をどんどん削減することがもっと必要だと感じています。時数をたくさん増やすことが生徒のためになるという思考をまずリセットする必要があると思います。
学期末の早下校等は、繁忙時期の改革としてとても効果的であったと思います。とても難しい問題ではあると思いますので、アンケートだけでなく、職員が顔を合わせて雑談しながら考える時間を意図的に設定することも必要ではないでしょうか。
一対一対応が必要な児童生徒が増え学部も寄宿舎も職員定数通りの対応では厳しい状況になっている。法整備が厳しいのなら県担での事業化が必要だと思う。
分掌や係の仕事量を少なくした方が良くと思う。縮小できるものや委託できるものはやった方が良い。そこから作ることができた時間は各専門性の向上に充てることができたらいいですね。
・勤務時間の中で、幼児児童にあった教材制作や授業の準備をできていないのに、専門性の向上のための時間を作ることは難しいのではないかと。それに加え会議が入ると勤務時間内に仕事を終えるのは難しい。仕事を多く抱える職員の残業時間が増えるのは当然だと思う。家庭がある職員は残業時間としては出ないが、持ち帰り仕事をしている場合も多くある。・働き方改革を都合のいいように解釈し、自己研鑽の時間を作らず専門性を失うのはとても怖いと思う。必要なところとそうでないところの見極めが必要だと感じる。
改革への取り組み、ありがとうございます。教頭職の時間的、精神的ゆとりを生み出すことが重要だと考えています。教頭は、学校全体の業務が集中しやすい立場にあります。これまで、業務過多で疲弊しきった教頭、病休に入った教頭と仕事をしてきました。「良い仕事（こどもたちに柔軟に関わる）」を目指すには、職員の拠り所となる教頭の「ゆとり」を生み出すことも検討すべきだと考えています。具体的な業務や研修を挙げるができず、私の感覚で記述していますが、教頭業務をみていると、そう感じます。働き方改革が後押しとなり、仕事のやりがいが増えています！と話せるように、チームの一員として取り組みたいと思います。
働き方改革という割に、寄宿舎には風当たりが悪いように感じます。程度の重い生徒が増えることにより、出来る子達の余暇活動や日課活動に制限があたりしている。22時以降は宿直勤務の休憩時間だが、生徒対応があったり、ますますストレスが溜まる。その時間も対応していることを県や管理者は理解しているのか。学部の職員の働き方改革ばかりに意識が向いていないか。
舎：早下校が増え、宿直入職員の休憩時間の取得が難しい日が増えていて。休憩がきちんと取れるように今後も取り組む必要がある。 舎：仕方ないと思うが、夜間（22時退勤～5時出勤）の生徒対応があり職員の就寝時間確保がままならい状況が増えている。
職員の働き方改革の1つとして早下校が増えているが、寄宿舎としては宿直入り職員の休憩時間の確保が難しいことが多々ある。できるだけ宿入り職員の休憩期間が確保できるよう、日勤・早朝職員で対応の職員体制を取るようお互いに協力しているが・・・。
持ち時数が中学部、高等部と全然違うので、小学部職員の時数軽減ができるように、専科の授業担当者を置くなど、一人当たりの時数軽減ができるようにして欲しい。もしくは、職員の人数（定数にプラスして）を増やして一人当たりの仕事量を減らせるようにして欲しい。

回答ありがとうございました。よりよい学校づくりの活動を行っていきましょう。

令和6年度 学校評価(学校評議員)

Formsで回答

評価領域に関して、当てはまる箇所に○をつけて下さい。

- A: そう思う
- B: どちらかというと思う
- C: どちらかというと思わない
- D: そう思わない
- E: わからない

No.	評価項目	評価内容	A	B	C	D	E
1	学校運営	学校は、適切に学校運営がなされている。	3	1			
2	教育課程 学習指導	学校は、教育課程の作成や学習指導の実践について適切に取り組んでいる。	4				
3	保護者 地域連携	学校は、保護者、及び地域との連携に取り組んでいる。	3	1			
4	PTA活動 との連携	学校は、PTAや地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる。	3	1			
5	危機管理等	学校は、危機管理等に努めている。	4				

日常的な安全管理、安全指導の徹底がしっかりとできていると思います。今後も生徒や保護者との信頼関係を構築し、笑顔の絶えない学校づくりをお願いします。

支援を必要とする子どもたちのためいろいろな実践に深く感謝申し上げます。保護者を含め地域の理解を得た継続的な取り組みができると子どもたちの自立につながると考えています。かなり高いハードルだと理解していますが、今後もよろしくをお願いします。

引き続き、児童・生徒の自立に向けた取り組みをお願いします。

教育内容も、日々の取り組みも、表面的なところしか存じませんので、評価はとても難しく思います。ただ、先生方が懸命に取り組んでいらっしゃる事はとても伝わってきます。